



# TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」  
そんなコンセプトで贈る塾通信

## ★今月のトピックス★

「とりあえずやってみる」の法則 ～やる気が出ないあなたへ～

「態 (voice)」

皆さんこんにちは！坪田塾です。

新年度が始まりましたね。ご入学、ご進級おめでとうございます！

花粉症の方々にはなかなか厳しい日が続きますが、  
頑張って乗り切っていきましょう！

さて、今月のトピックスは2部構成です！  
ぜひ、ご一読ください！



## ● 4月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5

# 「とりあえずやってみる」の法則 ～やる気が出ないあなたへ～

こんにちは。本郷三丁目校 講師の山田です。

4月になり、心晴れやかに、新生活がはじまった人もいます。

何か「新しいこと」をはじめると、ちょうどいい季節ですね。

新しい1年に心がウキウキ。「やる気」がメラメラ。

しかし、4月を超えて、5月、6月、7月…と

月を重ねるごとに、その「炎」が、だんだんと小さくなっていく…。

「やる気」がみるみるなくなっていく…。

そんな経験をしたことがある方もいます。

心の中では「ああ！こんな怠けてないで頑張らなきゃ！」と理解しつつも、

なかなか行動に移せない…

そんなこともあるかと思います。

そんなとき、心の中で叫んでほしい、この一言！

## 「とりあえずやってみよう」

## 「やりたいかやりたくないかは、やってみてから決めよう」

これです！

魔法の言葉です。

(例) 家に帰ったら宿題をやらないといけな

…でも、なかなか自分の机に向かえない、だるい、寝たい…

そんなときは、

まず、無理やりにでも、宿題のページをばっと開く！

(↑ここは頑張りどころ！)

そして中に書かれていることを読む！

そうすることで、頭の中では、

それまでにはたらいっていなかった、別の思考回路が動きはじめます。

「ああ、こんなことやったなあ」などと、

頭の中にふわっと色々な考えが巡ってきます。

そして、数分後には、勉強する体制になっている自分がいることに

気付くはずです。

行動に移すことで得られるエネルギーは

想像を超える、素敵なはたらきをしてくれます。

やる気が出なくて困っているのであれば、

「とりあえずやってみよう」のことばを

使ってみてください！

## 「態 (voice)」

こんにちは。都立大学駅前校 講師の名倉です。

新しい出会いがいっぱいの「春」…いかがお過ごしでしょうか??

さてさて今日は、英語講師らしく英語文法の「態 (voice)」という話をしたいと思います。

「や〜…勉強の話かぁ…」と思わず、ぜひぜひ最後までお目通しくださませ (笑)。

つい先日、春期講習が無事に終わりました。

まずは、**生徒の皆さん、お疲れさまでした!**

その講習のなかで、一度は絶対目にした文法…「受動態」。

「be 動詞+過去分詞 (p.p.)」で表す、例のアレです (笑)。

もちろん、訳としては「~される」となりますが、その逆はなんでしょう?

…そう、「能動態」と言われる普通の文「~する」という訳の文章ですね。

しかしながら、実は「能動態」と「受動態」の他にも、

「態 (voice)」が存在するのを知っていますか?

その「態」とは…「中動態 (middle voice)」です。

たとえば、I was born. っていう文章がありますよね?

この文は、「私は生まれた。」というように、「受動態」で訳します。

ただ、よくよく考えてみると、

「生まれる」のように「する/される」に分類することが難しい行為は…

はたして「受動態」に分類して良いのか?

と、改めて気付くかと思えます。

かといって、“自発的”な「能動態」というわけでも、決してありませんよね。

つまり、ここで上記の例文は「**そうか…中動態なのか…!**」と、わかるわけです。

かつての言語（古典ギリシア語など）では、「能動態」と「受動態」という構図ではなく、「能動態」と「中動態」という対立でした。

その「中動態」が、時代の変遷とともに形が変わり、最終的に現在の「受動態」へとなくなっていったのです。

…と、ここまでツラツラと長めの話が続いてきましたが、結局は何が言いたいのかというところ、**「新しい世界の存在を知ることがとても大事だ」**ということです。

私たちは、物事を二項対立で考えます。

たとえば、「賛成？ or 反対？」のように。

それは、もちろん便利だしシンプルに解釈しやすいから当たり前のことなのですが、一步引いて考えてみると、別の世界があることも念頭に置かなければなりません。

スケールを大きくしてみると、「資本主義？ or 共産主義？」のような話になり、

「共産主義だとうまくいかなかったから…やっぱり資本主義だね！」

みたいな短絡的な思考になってしまいます。

先ほどの「態 (voice)」の話で「中動態→受動態」となったように、

「現在の資本主義がベースになっている背景」を考えなければいけません。

なので、

**「新しい世界を知る」ために**

**生徒たちだけでなく大人も常に日々の勉強を続けていく必要がある、ということなんですね！**

それでは、寒暖差の激しい日が続いていますので、皆様お身体に気をつけて日々お過ごしくださいね~^^